

リゾート物件情報 **冬号**

南伊豆・房総特集

特集 **とこはる**
温暖の
みなみ伊豆へ
行こう

移住希望者が増加中!南伊豆の町づくり
 希望の物件を見つける、住まい探しの極意とは
 センパイ移住者に聞く、南伊豆暮らし
 体験農園で野菜作りを始めよう

interview: **小林邦行さん**
 [LOHAS Cafe ひといる]オーナー

伊豆・房総の土地&別荘 42件

好評連載

山村雅康 **アイターンズアイ**
 ひるがの高原～開拓地入植と震災移住～

知名直子 **うちな一嫁の歳時記**
 気のおけない庶民の味 沖縄風てんぷら

別荘地徹底調査 **全国分譲地評価比較表**
 妙高・黒姫・飯綱 編

現地調査済み!
 全国リゾート
 売買&賃貸物件
272件

すべて10万円以下で出品!
 山形県遊佐町2万4000平米超!!ほぼ平坦な原野
 香川県小豆島フェリー乗り場徒歩5分海と寒霞溪を見渡す旧家
 長崎県佐世保佐世保市街地へ15分便利な立地の古屋付き土地、他多数!
クリンジヤパンオークション発表!



300号突破記念! 応募者全員に1000円分のQUOカードプレゼント!!

奪われました。当初は皆、復興は無理だと諦めていたが、愛する里山を復興させたいという気持ちは一緒でした。復興当初は無理やり取材のために地域に入ってきたTV制作のスタッフも徐々になじみ始め、これをきつかけに他者を受け入れる下地ができあがったといいます。

その番組の放送で同地区の谷口さんは呼びかけました。「棚田の復興に力をかしていただませんか」。人生をこのまま終わらせたくない、と考えていた奈良県のサラリーマン、五藤さんはその番組で地域の惨状を見せずに駆けつけたそうです。

若柳地区では自分たちの力でなんとかしたいという有志が集まり、様々な取り組みを行っています。そして年々若柳地区を訪れる人は多くなっています。しかし高柳地区と同様、定住にどう結びつけるのが課題となっており、地区の有志たちは工夫を重ねています。

縁もゆかりもない地で、なにをどう始めて良いのかわからず、つい二の足を踏んでしまっている方が多いのが現実。移住経験者も、移住先との相性があるといいます。何回か訪れ、その地の人たちや地域との相性を確認することが大切です。



ここでおすすめしたいのが、やはり自治体が行っている移住説明会です。主要都市の相談カウンターに行ってみるのもよし、実際に現地に行つて肌で感じるのもよし。毎日の行動が、金銭を通してではなく生活や暮らしに直結する暮らしをしてみませんか。

高柳地区 移住歴13年の大橋さん

大橋さんは、奥様のご実家に移住してきました。ご実家とはいえ、住むためには修繕・改築が大変だったとか。田舎暮らしも初めてで、新しく移住してきた人と立場は一緒でした。「地域に住むすべての人がそれぞれの分野での匠です。その地に住んでいる人たちのいうことに素直に耳を傾け、素直に甘えること。甘えることはけつして失礼なことではありません。」

現在は地域の匠に助けられ、畑をし、米を作り、豪雪地帯ならではの雪掘り(除雪作業)もします。「しっかりと田舎の家には、必ずしっかりとした農業と畜産がある。逆にそれがしっかりとすれば、生活に困ることはない。そういう意味では安心感がある。米を作っていることの安心感があります。」

高柳地区は有名な越後上布の産地でもあります。越後上布は「カラムシ」と呼ばれるイラクサ科の植物が原料ですが、現在はその地域特産のカラムシを活かした特産品づくりにも着手。移住者の斬新なアイデアを取り入れ、今までにない新しいものを作り出しています。一度訪れて山里の雰囲気とカラムシの手触りを体験してみてください。

若柳地区 移住歴6年の五藤さん

上述の番組での谷口さんの呼びかけを見、小千谷市に駆けつけたという五藤さん。「一歩踏み出す勇氣は人一倍あったかもしれない、しかし移住できたのは谷口さんの人柄と情熱のおかげです。」五藤さんは言います。移住してからは谷口さんが生活のすべてを教えてくださいました。

「何事も『お願いします』という気持ちで人の好意を素直に受け入れる姿勢が大切です。不合理だと感じられても何事にも必ず理由がある。2年3年、5年、10年かけて辛抱強くお互いに理解し合わなければね。」

今では小千谷市吉谷地区の棚田を守る会の会長を務め、充実した日々を送っています。「地域のブランド作りが大切。丹精込めて米を作ればかなりの金額でも売ることができる。素直に努力すれば田舎で暮らすことはそんなに大変なことではありません。」

最近では東京や千葉、埼玉などの関東から棚田体験に来る人も増加中。土日だけで訪れる人も多く来るたびに距離が縮み、「帰ってきたよ」「おかえり」と楽しい時間を過ごしているそう。「ぜひ一度棚田に来てください。きっと何か得られるはずですよ」

にいがた暮らしツアー(現地説明会) IN 小千谷・柏崎

2012年3月開催予定

2012年3月に「にいがた暮らしツアー」が予定されています。詳細につきましてはこれから決定されますが、概略をお知らせします。

旅行期間 1泊2日(3月上旬の土・日曜を予定)
内容(仮) 田舎物件見学
移住者・地元の方との交流
食体験
生活情報(医療機関・日用品等買い物施設見学)

募集人員 先着10名程度
参加費 10,000円前後

●お問い合わせ
新潟県総務管理部 地域政策課交流・定住促進班
TEL:025-280-5088 FAX:025-280-5227
E-mail:ngt010130@pref.niigata.lg.jp



「にいがた暮らし」にご関心のある方、
「にいがた暮らし相談窓口」にお問い合わせください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-11-7
表参道新湯館エスパス 2階

TEL:03-3479-1415
FAX:03-5771-7714
メール:n-soudan@nico.or.jp

